

第一部

12時30分開場
13時00分開演

狂言

柿山伏

【かきやまふし】

山本泰太郎(大蔵流)

能

楊貴妃

【ようきひ】

観世恭秀(観世流)

「楊貴妃」観世恭秀
撮影：前島吉裕

第116回 川崎市定期能

能と狂言

平成31年3月16日(土) 会場：川崎能楽堂

入場料：各部 4,000円(全席指定)

U25 3,000円

※脇正面、中正面エリアのみ選択可。25歳以下の方。
購入時に生年月日のわかる身分証明書をお持ちください。

第二部

15時00分開場
15時30分開演

狂言

清水

【しみず】

山本則孝(大蔵流)

能

胡蝶

【こちょう】

田邊哲久(観世流)

岡本房雄(観世流)

「胡蝶」田邊竹生
撮影：前島吉裕

チケット発売日

平成31年2月6日(水) 午前9時より川崎能楽堂窓口にて発売(先着順)

*残券があれば、同日正午より電話・川崎市文化財団ホームページでも販売いたします。

チケット取扱・
お問い合わせ

川崎能楽堂 TEL.044-222-7995 川崎市川崎区日進町1-37 窓口・電話 9:00~17:00

*但し初日のみ電話受付は正午から。窓口完売の際は電話での受付はいたしません。

川崎市文化財団ホームページ <http://www.kbz.or.jp/event/noh/20190316/>

*ホームページより申し込みの場合、予約確定は申し込んだ日の翌日となります。



主催 公益財団法人 川崎市文化財団 〒212-8554 川崎市幸区大宮町1310 ミューザ川崎セントラルタワー5階 TEL.044-272-7366 FAX.044-544-9647

*開演後にはご入場いただけない場合がございます。また、出演者等変更になる場合がございますので予めご了承ください。なお、ご購入いただいたチケットのキャンセルや変更はできません。

【第一部】午後1時開演(午後12時30分開場)

狂言 柿山伏

シテ楊貴妃 観世 恭秀

能 楊貴妃

ワキ方士 殿田 謙吉 大鼓 佃 良太郎
小鼓 森澤 勇司 笛 小野寺竜一
所の者 山本 則孝

後見 坂井 音晴 金子 聡哉 藤波 重孝
寺井 栄 地謡 新江 和人 浅見 重好
角 北浪 貴裕 関根 知孝
幸二郎 上田 公威

狂言 柿山伏【かきやまぶし】

修行から帰国途中の山伏(シテ)が、喉の渇きを覚えたので辺りを見回し、たわわに実った柿の木を見つめます。取ろうとしますが、手が届かず、石を投げてもあたらないので、ついに柿の木に登り、手当たり次第に食べ始めてしまいます。そこへ柿の木畑の持ち主が見回りにやってきます。梢に隠れている山伏を見つけた主は、烏だ、猿だと言つて、山伏に鳴きまねをさせてからかいます。最後に「鳶なら空を飛ぶものだ」と言われてしまった山伏は……。

能 楊貴妃【ようきひ】

唐の玄宗皇帝は、安祿山の乱により亡くなった楊貴妃を忘れられず、配下の方士(ワキ)に、楊貴妃の魂を探し出すよう命じました。方士は仙術を駆使して楊貴妃が死後転生した蓬萊宮に至り、そこに住む者(アイ)から、楊貴妃の居場所を聞き出します。方士が教えられた太真殿に行く、宮殿から楊貴妃(シテ)が現れます。

方士は楊貴妃に、玄宗皇帝の悲しみ、嘆きの深さを訴えるとともに、楊貴妃と会った証拠に形見の品がほしいと申し出ました。楊貴妃はこれに応え、髪に挿していた釵を、方士に渡そうとします。ところが方士は、よくある品物では証拠にならない、玄宗と楊貴妃との間の人知れず交わされた言葉があれば、それを証にしたいと伝えます。楊貴妃は七夕の夜に比翼連理の誓い(天にいれば翼を並べて離れない鳥になるう、地にいれば枝を連ねて離れない木となるう)を交わしたと打ち明けます。

楊貴妃は、玄宗との思い出を語り舞を舞いました。方士は釵を持って現世へ去り、楊貴妃は独り涙に伏し沈むのでした。

【第二部】午後3時30分開演(午後3時開場)

狂言 清水

前シテ都の女 岡本 房雄
後シテ胡蝶の精 田邊 哲久

能 胡蝶

ワキ旅僧 大日方 寛 大鼓 佃 良太郎 太鼓 徳田 宗久
小鼓 森澤 勇司 笛 小野寺竜一
アイ都一条辺の者 山本泰太郎

後見 北浪 貴裕 高梨 万里 角 幸二郎
寺井 栄 地謡 新江 和人 浅見 重好
坂井 音晴 金子 聡哉 武田 尚浩
上田 公威

狂言 清水【しみず】

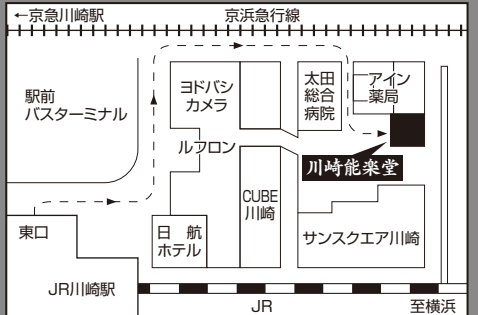
主人から、茶の湯で使う水を野中の清水へ汲みに行くように命じられた太郎冠者(シテ)は、行きたくないので、鬼に襲われたふりを帰ってきます。主人は冠者が置いてきてしまった秘蔵の手桶を惜しがり、みずから清水へ行くと言いつたので、冠者は先回りし、鬼の面をかぶって主人を脅します。あわてて逃げ出した主人ですが、鬼が冠者を鼻負したことや、鬼の声が冠者と同じであったことを不審に思い、再び清水に出かけて行きますが……。

能 胡蝶【こちょう】

大和の国(奈良県)の吉野の山奥に住む僧(ワキ)は、早春の都を訪ねます。一条大宮に着いた僧が、古い宮のなかに、見事に咲いた梅の花を見つけ眺めていると、女(前シテ)が声をかけてきます。不審に思った僧が、宮の謂れと女の名を問いただします。女は宮の謂れを説明しますが、自分の名は明かそうとしません。僧が重ねて問いかけると、女は胡蝶の精で、春夏秋冬の花々とは戯れることができるのに早春の梅の花には縁がないと嘆き、僧に有難いお経を読んでもらい、成仏したいという望みを語ります。そして、夜半に夢の中に現れると言いつて、夕空へ消えていきました。

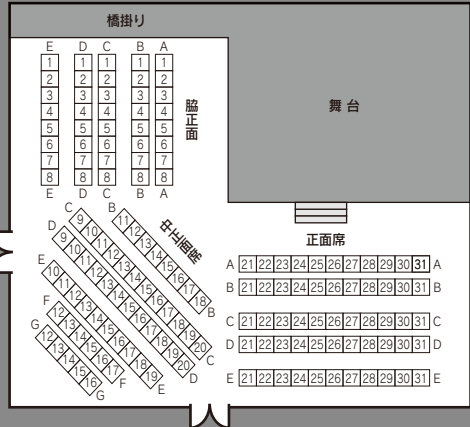
僧が梅の花の下で一夜の宿を取り、お経を読んだら寝ると、胡蝶の精(後シテ)が現れます。梅の花と出あった喜びを表して胡蝶の舞いを見せて、やがて明け方の空へ消えていきました。

川崎能楽堂案内図



JR川崎駅東口より徒歩5分
■アクセス(JR川崎駅まで)品川駅より約9分 横浜駅より約8分
※駐車場はありませんので、公共交通機関をご利用ください。
川崎能楽堂
〒210-0024 川崎市川崎区日進町1-37
TEL.044-222-7995 FAX.044-222-1995

川崎能楽堂座席表(148席)



※U25券は脇正面席・中正面席のみ選択可。

次回公演のお知らせ

2019年5月30日(金・祝)
人間国宝の競演
友枝昭世と山本東次郎の至芸

会場：川崎市麻生市民館大ホール
狂言「月見座頭」山本東次郎、能「葵上」友枝昭世
チケット受付：アルテリッカルシムリチケットセンター
044-955-3100

2019年5月24日(金)

第44回川崎大師新能
会場：川崎大師平間寺
チケット発売：3月下旬予定